

CDP「気候変動」分野において最高評価の「Aリスト」企業に初選定

日本酸素ホールディングス株式会社（代表取締役社長CEO：濱田敏彦）は、国際的な非営利団体である CDP*（本部：英国ロンドン）により、環境に対する先進的な取り組みと透明性の高い情報開示などが評価され、2024 年度の「気候変動」分野で初めて最高評価の A リストの企業に選定されました。また、「水セキュリティ」分野で A-スコアを獲得しました。



当社は、サステナビリティに関する取り組みを進展させてきました。中期経営計画「NS Vision 2026」では5つの重要課題の一つとして、「サステナビリティ経営の推進」を掲げ取り組んでおり、これらの進捗は[統合報告書](#)や Web サイト ([サステナビリティ | 日本酸素ホールディングス株式会社](#)) で積極的に開示しています。

*CDP は企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを有する国際的な非営利団体です。情報開示の包括性、環境リスクに対する認識と管理、野心的で有意義な目標設定などの環境活動に関する情報を詳細かつ独立した手法で収集・分析し、A から D-の 8 段階で評価を付与しています。

以上

日本酸素ホールディングスグループは、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの 4 つの地域で 30 超の国と地域をカバーする世界第 4 位の産業ガス、電子ガス、医療用ガスのサプライヤーです。また、サーモス事業では、世界 120 カ国以上に THERMOS ブランド製品を供給しています。1910 年に日本酸素合資会社として設立されて以来、当社グループは、革新的なガスソリューションを通じて社会的価値を創造し、産業の生産性を高め、人々の豊かで健康な暮らしとより持続可能な未来に貢献することを使命としています。19,000 名以上の従業員を擁する私たちは、“The Gas Professionals ”として、“進取と共創。ガスで未来を拓く。”という同じ目標を掲げています。

お問い合わせ先

日本酸素ホールディングス株式会社

広報部

03-5788-8513